

## 最近の自動運転の実現に向けた取組概要

---

○政府における自動運転に関する取組み状況

# ○政府における自動運転に関する取り組み状況

- ・ 日本再興戦略では「安全運転支援・自動走行システムの開発・環境整備」、世界最先端IT国家創造宣言では「高度運転支援技術・自動走行システムの開発・実用化等の推進」等が盛り込まれている。

## ①日本再興戦略 [平成25年6月14日、閣議決定]

### 二. 戦略市場創造プラン

#### テーマ3：安全・便利で経済的な次世代インフラの構築

#### ○安全運転支援システム、自動走行システムの開発・環境整備

- ・ 安全・快適にヒト・モノの移動ができる社会像を実現するため、**数値目標やロードマップを明確化**した上で、関係省庁の連携による研究開発、政府主導の実証計画の策定・実施、**内外事業者によるアライアンス形成からなる運転支援システム高度化計画を策定**する。**本年8月末までに検討を進め結論を得た上で、必要な措置を講じる**。このため、直ちに**政府の推進体制を確立し、関係省庁が連携し取り組む**。

## ②世界最先端IT国家創造宣言 [平成25年6月14日、閣議決定]

### Ⅲ. 目指すべき社会・姿を実現するための取り組み

#### 2. 健康で安心して快適に生活できる、世界一安全で災害に強い社会

#### (4) 世界で最も安全で環境にやさしく経済的な道路交通社会の実現

- ・ **府省横断的なロードマップを策定**するとともに、推進体制を構築し、**高度運転支援技術・自動走行システムの開発・実用化等を推進**する。
- ・ 車の自律系システムと車と車、道路と車との情報交換等を組み合わせ、**運転支援技術の高度化を図るとともに、実用化に向けた公道上での実証を実施し、2020年代中には、自動走行システムの試用を開始**する。

## ③科学技術イノベーション総合戦略 [平成25年6月7日、閣議決定]

### 第2章 科学技術イノベーションが取り組むべき課題

#### Ⅲ. 世界に先駆けた次世代インフラの整備

#### 3. 重点的取組

#### (3) 高度交通システムの実現

- ・ この取組では、ITS技術の高度化による、より先進的な**交通安全支援・渋滞対策技術**や道路交通情報の集約・配信技術、交通管制技術、利便性向上技術の開発を推進する。この取組により、歩行者・自動車双方への交通安全に係る迅速な情報提供や支援、渋滞等の削減、利便性の向上を図りつつ、**交通事故死者数ゼロを目指し、世界一安全・快適な道路交通を実現**する。

# ①日本再興戦略(ロードマップ)

日本再興戦略(ロードマップ)(平成25年6月14日、閣議決定)における自動運転関連の記載内容(抜粋)

## ヒトやモノが安心・快適に移動することのできる社会

**【社会像】ヒトやモノが安全・快適に移動することのできる社会**

＜主な課題＞

- ✓高齢者の反射速度等の身体・認知機能の低下を補完する新技術の社会実装
- ✓経済活動のアジア地域への拡大にあわせた、物流システムのシームレス化など

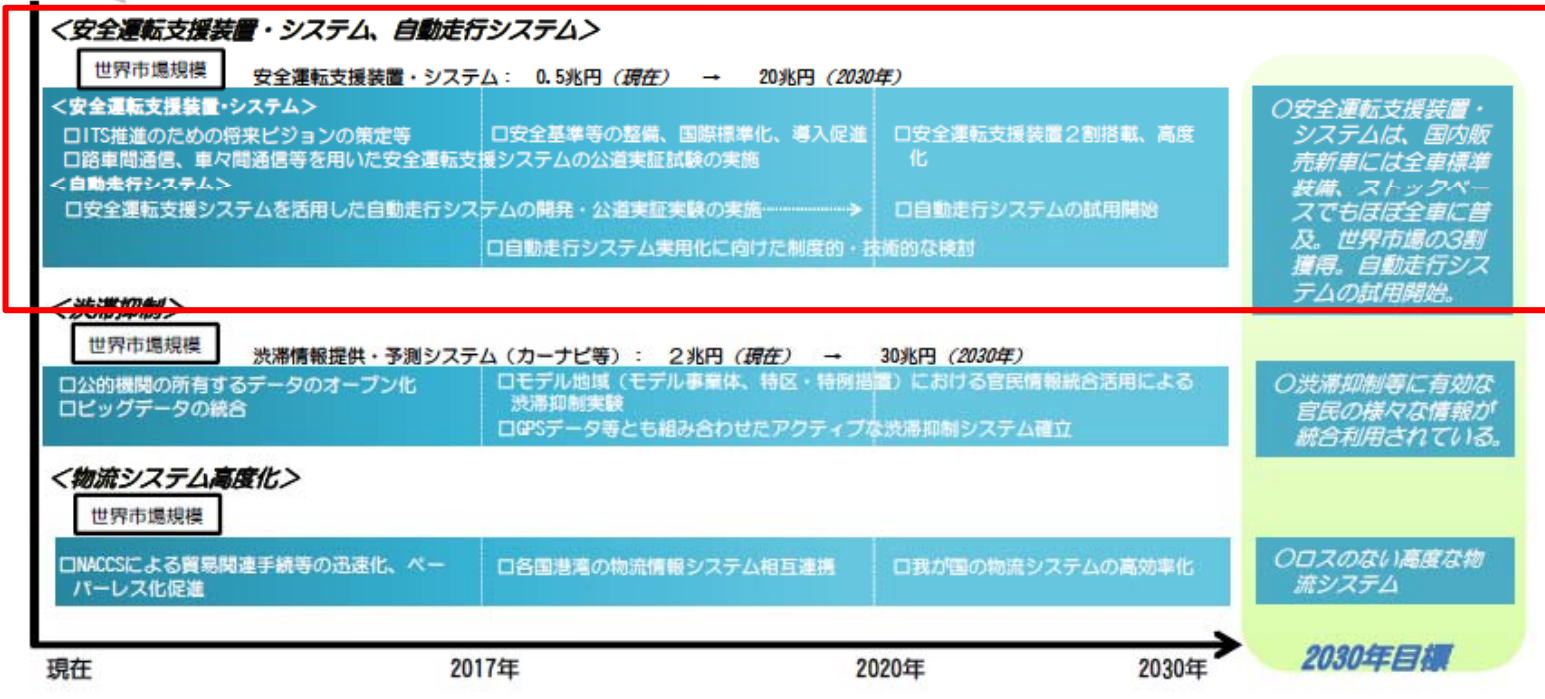
**【指標】2030年までに交通事故が劇的に減少**

あるべき社会で実現するライフスタイル

- 交通事故が劇的に減少し、交通事故にあらう不安のない生活。
- 渋滞が劇的に減少し、スムーズにヒトやモノの移動ができる。
- 通勤や時間を意識させないコスト・スピードで物流サービスが受けられる。

中間段階において達成しておくべき社会像(2020年頃)

- 安全運転支援装置・システムは、国内車種(ストックベース)では20%搭載。世界市場の3割獲得。
- 渋滞や交通事故の抑制に有効な官民の様々な情報が統合利用され始めている。
- 荷物の位置情報の詳細な把握が可能となっている。



## ②世界最先端IT国家創造宣言工程表

世界最先端IT国家創造宣言工程表（平成25年6月14日、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部決定）における記載内容（抜粋）

